

「みんなの家 (House for all)」が広島市東区で開催されたサンクスギビングパーティに参加しました。

2023年11月26日(日)東区中山新町の鈴が丘集会場を訪問し、みんなの家が主催されたサンクスギビングパーティに参加させていただきました。アメリカ伝統の「感謝祭」を子どもたちに体験させるためのイベントで、子どもたち20名程度と保護者それに広島インターナショナルスクールの外国人の先生方十数名を含めた総勢60名程度が集いました。11か国の人たちが集まり、世界平和を祈って”One Big Family”というテーマで1つの家族としてテーブルを囲みました。



自己紹介を兼ねて、参加された外国人の方々が出身国の特徴を英語で話され、それがどこの国かを当て、最後にその国の言葉で「ありがとう」を言い、皆で復唱しました。その後、席決めをしました。最初に受付で紙が配られましたが、その紙は1枚の紙を6等分したパズルで、元が同じピースを持った人を探し、同じテーブルについて食事が始まりました。全ての料理が手作りで、英語と日本語を使いながら食事と会話を楽しみました。

食事が一段落したところで、参加している子どもたちの英語での自己紹介とハンドベルでの演奏がありました。



アットホームでインターナショナルな雰囲気の中、あっという間に時間が過ぎました。



<みんなの家 (House for all) >

2019年に結成された団体で、グローバルな時代に夢をもって自分らしく生きていく力を育むことを目指した小学生のための放課後インターナショナル児童クラブです。

代表の三宅さんが42年間のアメリカ滞在後に帰国して感じられたのが、日本の若者は夢を持っていない。諦めと閉塞感が漂っているということでした。このような若者が生き甲斐を見つけられる社会にするために自分に何ができるかを考えて作られた団体です。三宅さんは小柄ですが声が大きくエネルギッシュなご婦人です。今回のパーティでもそのパワーを遺憾なく発揮されており、外国人も日本人も参加された誰もが敬服していました。

(井上)